

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

えり高卒業生が夢実現に向けて ～あっという間の5週間～

北海道教育大学釧路校 3年 北村奏美さん

教育実習を終えて

5週間の教育実習を通して、子どもと関わる楽しさや大切さ、授業づくりの大変さなどたくさんの学びを得ることができました。実習中、毎日子どもたちと顔を合わせ、色々な話をしたり一緒に遊んだりする中で、どのような興味・関心をもっているのか、どのような子なのかといった実態を把握したり、「何かあったのかな」と子どもの小さな変化に気づいたりすることができました。子どもの実態を把握することは授業をつくる上で大切なことであり、子どもの変化に気づくことも子どもの安心安全を守ることにつながると感じたため、子どもと積極的に関わる必要があると思いました。

さらに、3・4年生の国語の授業を実践させていただいて、授業の目的・ゴールを明確にすること、実態に応じた教具や学習内容を考えることの大切さ、複式授業の難しさを感じるこ



えりも岬小学校 3・4年生国語の授業

ことができました。「何のためにこの授業をするのか」「どのような力を身につけてほしいのか」をはっきりさせることで、必要な手立てや働きかけを考えたり、軸がぶれることなく、一貫した授業を展開したりすることができると思いました。複式だからこそできることを生かしながら実践することが難しく、今後も複式の良さを十分に生かし、課題をどう補っていくかについて考えていきたい。

あっという間の5週間でしたが、とても充実した5週間、成長できたと思える5週間だったと思います。えりも岬小学校で実習ができたこと、たくさんの方にご指導いただいたことに感謝し、教員を目指していきたいと思ひます。

えりもの子がえりもで育ち、夢に向かって 今、輝いて、挑戦しています

○北村奏美さんは、2年前にえりも高校を卒業し、教師の道を目指して、北海道教育大学に進学しました。北村さんはへき地教育で子供たちに教えることを夢見ています。

○その夢を、一步一步自分の力で実現しようとしています。

○9月には、決められた教育実習5週間を行い、母校のえりも岬小学校で教鞭を取りました。

○えりも高校は、このように一人一人に応じたきめ細かな指導を通して、生徒の夢や目標の実現を目指しています。

えりも町の子どもたちの良さと求められる課題

(令和4年度 全国学力・学習状況調査 小学6年、中学3年 結果より)

○下のグラフは、子供たちがどの程度夢や希望をもって学校生活を送っているかのデータです。

○表面には、故郷、えりもで幼児期から高校まで育った北村さんを紹介しましたが、夢や希望をもつことは、日常の生活でも、意欲をもって学校生活を送ることに結び付くと考えています。

○小学6年では全国よりも「夢や希望を持っている」と回答した児童は全国60%に対して、えりもは69%と多く、望ましい傾向にあります。また、中学3年の「意志の強さ」、一層、夢実現に結び付きます。

○下のグラフは、家庭での生活でいかに、テレビゲームなどを行っているかが分かるデータの一つです。

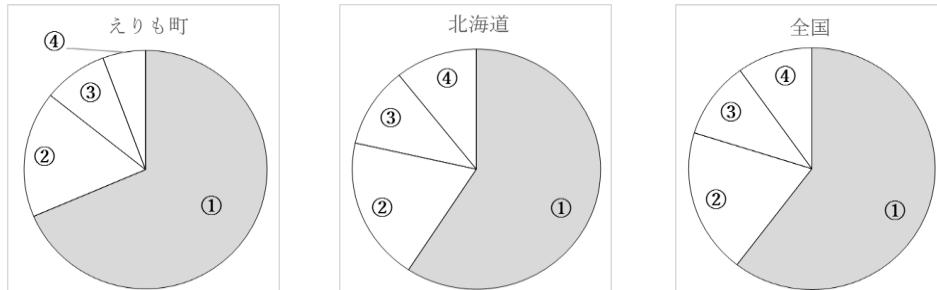
○教育委員会だより114号でお伝えしましたが、児童生徒の基礎学力の定着が十分でない大きな要因の一つと言えます。

○学習を振り返る時間と、下記の実態では当然、比例することとなります。

○全国との比較で「4時間以上、ゲームをしている」では、特に、中学3年は全国16%に対し、えりもは38%と極めて多い状況でした。

〈小学6年〉 Q. 将来の夢や希望を持っていますか。

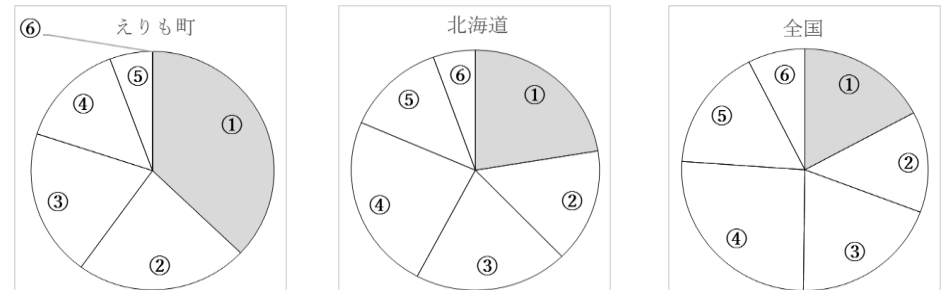
①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



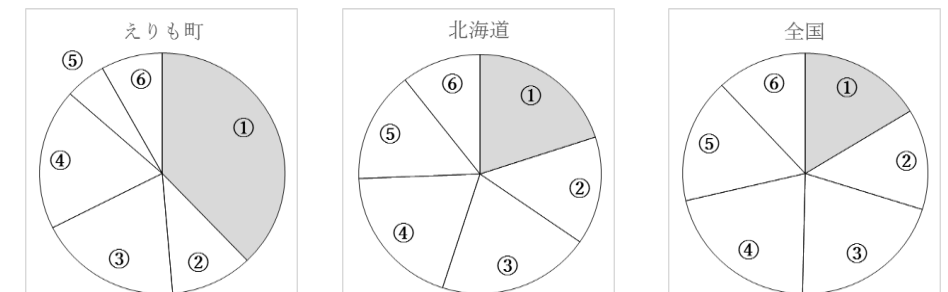
Q. 普段(月～金曜)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

①4時間以上 ②3-4時間 ③2-3時間 ④1-2時間 ⑤1時間未満 ⑥全くしない

小学6年



中学3年



〈中学3年〉 Q. 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

